

炉やふいごなどが残る菅谷高殿の内部。一般にも公開されている＝いずれも島根県雲南市吉田町



島根県雲南市吉田町の「菅谷たたら山内」(国重要有形民俗文化財)が、観光資源として注目を集めている。日本古来の「たたら製鉄」を行っていた集落が国内で唯一現存。JR西日本が来年春からの運行を予定する豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス 瑞風」の観光ルートに選ばれ、人気グループ「EXILE」による映画も制作中だ。たたら製鉄は兵庫県ともゆかりが深く、県内の関係者も「たたらブーム」到来を期待する。
(古根川淳也)

兵庫おでかけ情報

青空主義

プラス

島根・雲南

「たたら」を観光資源に

菅谷たたら山内の中心施設で、炉などが残る菅谷高殿は江戸中期の1751(宝暦元)年、1921(大正10)年に操業し、堺や新潟などに包丁や鋳物用の鉄を供給した。周辺には勘定場などの建物も残り、往時の製鉄集落の雰囲気をとどめる。たたらが登場する宮崎駿監督のアニメ映画「もののけ姫」でも、制作前にスタッフが見学に訪れたという。

ただ、観光地としての菅谷たたら山内は、これまで「知る人ぞ知る」存在だった。そこに注目したのがJR西日本。瑞風

時代劇映画が来年公開予定 寝台列車「瑞風」のルートに



大正時代まで170年間たたら製鉄を行った菅谷高殿。左の大きな木は金屋子神が降り立ったとされるカツラの木

たたら製鉄 砂鉄を木炭で溶かして鋼を取り出す日本古来の製鉄法。雲南市周辺の奥出雲地方はたたら製鉄の中心地で、江戸時代には国内の鉄の7割を生産したという。

兵庫の関係者ら波及効果期待



は沿線で立ち寄り観光を行うが、その行き先に抜けてきた。同社は「たたら製鉄は日本のものづくりの原風景で、大化けする可能性を秘めた観光資源。瑞風の乗客層である知的好奇心の高い年配の方々も十分満足するはず」とする。EXILEのリーダーHIROさんが初めてプロデュースした時代劇映画「たたら」も来年公開予定。千種町も製鉄の歴史が古く、江戸時代にはたたら製鉄が盛んだった。

地元の炭業鉄を保存する会事務局長、上山明さん(76)は「大勢の人がたたらに関心を持ち、炭業にも波及効果が来てほしい」と期待する。

画「たたら侍」も来年の公開を予定する。雲南市内に設けたセットでは実際にたたら製鉄を再現するなど、本物の映像にこだわったという。

錦織良成監督は「たたらで造った鉄でないとい日本刀に必要な純度の鋼ができないと聞き、現在の製鉄よりレベルが高い技